



三田ヶ谷公民館だより

令和 8年9月1日
発行 三田ヶ谷公民館
TEL 565-0040

木 目 込 み 人 形 講 座

- 日 時 10月4、18日(日) 9時30分～11時30分
○場 所 三田ヶ谷公民館 ○講 師 細野 和江 氏
○対 象 市内在住、在勤の方 ○テーマ 干支 未
○定 員 20名(先着順)
○費 用 大:3,200円(干支 未) ※今年度より「大」のみ
○持ち物 エプロン、布切りばさみ、紙切りばさみ、小ばさみ、
古タオル、ヘラ(お持ちの方のみ)
○申込み 9月6日(日)8時30分より、費用を添えて公民館へ



まなんで、たのしい！ けやき大学！！

全6回のけやき大学は、残り3回を予定しています。興味のある方は見学に来てみませんか？

- 9月3日(木) カラオケを楽しもう！
9月25日(金) グラウンド・ゴルフを楽しむ(10月2日予備日)
10月15日(木) 消費生活講座「悪徳商法から身を守る！」
地域の歴史講座「三田ヶ谷あれこれ」



6月18日「バンド生演奏」



7月9日「リンパ整体体操」



8月19日「市長講話」

はつらつ教室

日 時:9月25日(金)10時～11時
持ち物:タオル、飲み物
場 所:三田ヶ谷公民館和室
お問合せ 高齢介護課

健康運動教室

日 時:9月2日(水)、10月7日10時～11時30分
持ち物:タオル、飲み物
場 所:三田ヶ谷公民館和室
お問合せ 健康づくり推進課

9月の公民館休館日

毎週火曜日、21日(月)、23日(水)



9月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

「いいでえー！！三田ヶ谷！ ～歴史と文化～」

(第27回 明治期の地誌から見る三田ヶ谷)

先月号で、江戸時代に作成された『武蔵田園簿』から三田ヶ谷地区の各村の田んぼと畑の比率を見てみました。では、明治時代はどうだったのでしょうか。明治9年頃に編まれた『武蔵国郡村誌』を見てみたいと思います。各村の畑田の比率は、おおよそ以下のとおりです。

喜右工門新田村：田31町、畑50町

与兵工新田村：田12町、畑19町

三田ヶ谷村：田100町、畑107町

日野手新田村：田21町、畑1町

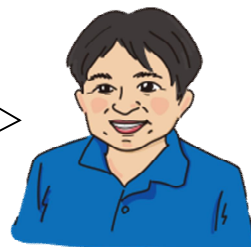
弥勒村：田42町、畑107町

畑の比率の方が高くなっていることがわかります。「物産」の項目を見ると、喜右工門新田・与兵工新田・弥勒の各村は、米よりも大麦を多く作っていました。喜右工門新田は米が185石に対して大麦は484石、与兵工新田は米82石・大麦204石、弥勒は米665石・大麦1,352石という生産高でした。逆に、三田ヶ谷村では米880石に対して大麦は574石で、日野手新田は米101石に対し、大麦23石でした。米や大麦以外にも、小麦・大豆・小豆・粟・蕎麦などを作っており、いずれの村も「男女農を専（もっぱら）とす」と記されています。ただ、三田ヶ谷村だけは「男女農を専とし傍ら機織養蚕等に従事す」とあり、一つの特徴が見て取れます。ちなみに、各村が保有する耕作船は、喜右工門新田18艘、与兵工新田17艘、三田ヶ谷80艘、日野手新田3艘というデータが記載され、三田ヶ谷村は群を抜いていました。

新田開発や農機具の発展、二毛作の定着や地域のニーズもあったでしょう。時代が進めば、水路の整備などにより、さらなる変化を遂げました。小説『田舎教師』のモデル・小林秀三が弥勒に務めていたのは明治30年代半ばでした。秀三はどのような光景を目にしながら、弥勒へと通っていたのでしょうか。



『武蔵国郡村誌』によると、三田ヶ谷地区で一番人口が多かったのは三田ヶ谷村1,164人で、戸数は202戸でした。



公民館主事：高島